



レジ袋の廃止は、『ごみになるものを作らない、
燃やさない、埋め立てない』につながります！

ゼロ・ウェイストの会、スーパー三和、町田市の

三者協働による「レジ袋廃止実証実験」の経緯

資料作成-町田発・ゼロ・ウェイストの会

2008年

- 2月14日 市民、行政で三和本社訪問、要請書提出、即決回答を得る
- 2月20日 経済産業省、環境省訪問、レジ袋廃止実験の協力を要請し快諾を得る
- 2月21日 三者により、実施時期、方法、PR、市民の協力方法等の協議
- 2月26日 開始は3月14日から「三和小山田店」で実施、期間は6ヶ月とする
- 2月29日 市民側の提案で、レジ袋代替として紙袋(ロゴマーク付)のリユースを提案
- 3月01日 「三者協定書」文案作成、周辺住民にレジ袋廃止周知のチラシ案の決定
- 3月04日 市役所にて「三者協定書締結」、共同記者会見
- 3月05日 レジ袋廃止予告

店内放送、マイバッグ(自社製)無料配布 2000枚、ポスティングによる

チラシ 1500枚、パネル展示、広報などによるPR
- 3月14日 レジ袋廃止実証実験開始

レジ袋代替として、市民提供の紙袋、ダンボール、貸し出し用バッグ用

意 店内放送でマイバッグなどの持参の呼びかけ、エコポイントのPR、

- 4月16日 市民意識調査の内容、実施方法、期間の検討
近隣住民 2000 世帯に配布、期間は 4 月 28 日～5 月 10 日とする
- 5月29日 市民提供の紙袋の廃止に向けて、代替としてリサイクル出来るエコブックロ
と指定有料ゴミ袋のバラ売りの検討始まる
- 6月05日 「レジ袋廃止実証実験市民意識調査」集計結果の報告
有効回収数 905 世帯(回収率 45,25%)
- 8月05日 市長、記者会見
市民提供の紙袋を廃止し、代替として「エコブックロ、指定ゴミ袋を販売
する実験」を第 2 段階の実験として実施することを発表
周辺住民に、市民提供紙袋の廃止と、エコブックロ、指定ゴミ袋導入のチ
ラシ配布、パネル展示と店内放送で予告をする
- 8月15日 第 2 段階実験の開始
エコブックロ 50 円、指定ゴミ袋 40 円の販売始まる
店内放送で新しい試みの紹介、説明をし、理解を求める
- 8月20日 市民提供紙袋の完全廃止後も特に苦情もなく、順調に経過
- 9月15日 第 2 実験開始から 1 ヶ月のマイバッグ持参率(会員) 約 97%
(レジ袋廃止実験開始前の持参率(会員) 約 30%～40%)

* 2009 年 3 月をめどに、レジ袋廃止実証実験継続、三者で今後の展開を検討中